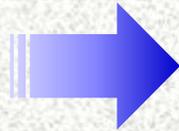


■ 整備状況の比較

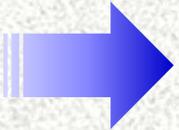
平成24年撮影



平成29年9月撮影



平成26年撮影



平成29年9月撮影



■ 整備効果

■ 人家連亘部の通行回避による 安心・安全度の向上

【現状の問題点】

- 人家連亘部で道幅が狭く、交通量も多い!!
- 通学路だが道幅が狭く、歩道もなくて危険!!



片柴バイパス
整備

【整備効果】

県内有数の観光地である三朝温泉と三徳山が日本遺産に登録されたことにより、アクセス道路である県道鳥取鹿野倉吉線の交通量が増加しています。

片柴バイパスを整備することにより通過交通がバイパスにシフトし、道幅が狭く歩道のない既存の県道の負担が軽減するため、通学生・児童や地域住民の安心・安全度が大きく向上します。

■ 三朝温泉と三徳山のアクセス強化



【整備効果】

日本遺産に登録された三朝温泉と三徳山間のアクセスが片柴バイパスを整備することにより、より強化されます。

鳥取県 中部総合事務所 県土整備局

〒682-0802

鳥取県倉吉市東巖城町2番地 TEL0858-23-3223



祝 開通



三朝町マスコットキャラクター
「湯けむり怪獣 ミササランド」

21 主要地方道 鳥取鹿野倉吉線

片柴バイパス



鳥取県マスコットキャラクター
「トリビー」

平成29年10月1日（日）開通



鳥取県中部地震
復興

県中部地域の観光振興及び沿線住民の安全に寄与した新たなバイパス

■ 事業目的

「主要地方道鳥取鹿野倉吉線」は、鳥取市内の国道53号を起点とし倉吉市内の国道179号に接続する幹線道路であり、また、緊急輸送道路に位置づけられている重要路線であるとともに、県内有数の観光地である日本遺産三朝温泉や国宝投入堂を有する日本遺産三徳山をつなぐ観光道路です。

事業区間の現道は車道幅員がW=5.0mと狭隘でかつ見通しも悪く、更に通学路であるにも係わらず歩道が未整備であり非常に危険な状況でした。このため、平成22年度からバイパスを整備し、交通の円滑化及び沿線住民の安全を確保しました。

■ 事業概要

延長 L=1.44km (片柴工区：0.80km、片柴2工区：0.64km)
 道路規格 第3種第2級
 設計速度 50km/h
 幅員 W=6.5(10.5)m
 事業費 約16.5億円 (片柴工区：約8.65億円、片柴2工区：約7.86億円)
 事業期間 平成22年度～平成30年度
 主要構造物 出会橋 (橋長78.5m)、波関橋 (橋長27.8m)
 交通量 自動車9,250台/日 (H22センサス)

【道路改良工事】



【出会橋橋台工事】



【出会橋桁架設工事】



【護岸工事】



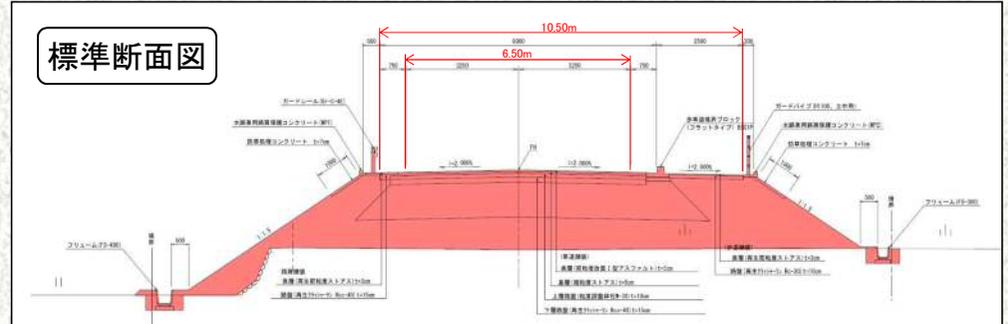
【波関橋桁架設工事】



【舗装工事】



標準断面図



平面図

